

令和4年度 キャリア教育全体計画

関係法規 学習指導要領 県教育委員会の指導や 方針	本校の教育目標		幼児児童生徒と保護者、 地域の願い 幼児児童生徒の実態
	「伝え合うこと」「役割を果たすこと」ができる人を育てる ・ 豊かに表現すること ・ 自己有用感を高めること ・ 自分のこと、友達のことを大切にすること		

目指す子ども像
明るく元気な子ども（体） 工夫しながら学び合う子ども（知） やさしく思いやりのある子ども（徳）

目指す学校像	目指す教職員像
子どもにとって「早く行きたくなる学校」 保護者にとって「成長を期待し安心して任せられる学校」 地域にとって「特別支援教育のセンターとして頼れる学校」	「いのち」をつなぐ教職員 学び続ける教職員 地域とつながる教職員

キャリア教育の目標
自分や他者、社会を知り、生き方や在り方について考え、自立と社会参加に向けて積極的に取り組む人を育成する。

各 学 部 の 指 導			
	幼 小 学 部	中 学 部	高 等 部
身につけさせたい能力・態度			
人間関係形成能力	(下学年) ・挨拶の習慣をつける。 ・身近な人に、自分の気持ちを伝える。 ・新しい集団に慣れて、友達と仲良く遊ぶ。 ・自分の好きなもの、嫌いなものを見つける。 (上学年) ・自分から挨拶や返事をする。 ・周囲の人に、自分の気持ちや意見を伝える。 ・異年齢集団に参加し役割と責任を果たそうとする。 ・自分や友達の良いところに気づき、認め合う。	・状況に応じて、自分から挨拶や返事、感謝、謝罪の気持ちを伝える。 ・場面に依じて、自分の意見や要求などの意思を伝える。 ・集団の約束を知り、友達と協力して活動する。 ・自分の良さや個性がわかり、友達の個性や感情を理解する。	・感謝や反省の気持ちを適切に伝える。 ・誰にでも自分の思いや意見を適切に伝える。 ・他者の意思などを受け入れながら、適切なコミュニケーションを図る。 ・社会のルールを守り、多様な他者（異年齢・異性など）とのかかわる。 ・自分の適性や能力を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。
情報活用能力	(下学年) ・係や当番の活動に取り組む。 ・身近で働く人に興味関心をもつ。 (上学年) ・係や当番の活動に取り組み、働くことの楽しさを味わう。 ・いろいろな仕事があることを知る。 ・わからないことを調べたり質問したりする。	・見学や体験等を通して、働くことの大切さや、苦労がわかる。 ・様々なメディアを活用する。 ・必要に応じて集めた情報を整理し、自分から発信する。	・体験を通して社会規範やマナー等の必要性がわかり、身につけようとする。 ・多様な職業観・勤労観を学び、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 ・卒業後の生活に関する情報を探索し、試行する。 ・調べたことに自分の考えを加えて発表する。
将来設計能力	(下学年) ・作業の準備や片づけをする。 ・決められた時間やきまりを守ろうとする。 ・作業の手順が分かる。 ・夢や希望をもつ。 (上学年) ・家の手伝いや係活動など役割の必要性がわかる。 ・身近な生活の中でいろいろな役割があることやその大切さがわかる。 ・夢や職業への憧れをもつ。	・互いの役割の必要性が分かり、自分の役割を意識して行動する。 ・夢をもち、自分にふさわしい進路への関心、意欲を高める。 ・自分たちの好きなことややりたいことを計画し実行する。	・学校や地域、社会において自分が果たすべき役割を自覚し、積極的に役割に取り組む。 ・将来の生活を思い描き、いま取り組むべき学習や活動に取り組む。 ・生きがいややりがいがあり、自分を生かせる生き方や進路を現実的に考える。
意思決定能力	(下学年) ・自分の好きなものや大切なものをもつ。 ・自分のことは自分でしようとする。 ・学習や活動の中で、多くの体験を積み重ねる。 (上学年) ・自分で選ぶ経験を積み重ね、主体的に選択する。 ・自分の仕事に責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・してはいけないことがわかり、自制する。 ・必要なときに支援を求めようとする。	・自分の個性や興味・関心等に基づいてよりよい選択をしようとする。 ・自分の課題に気づき、解決していこうとする。 ・自分に必要な支援が分かり求める。	・自分なりの価値観や職業観をもつ。 ・多様な選択肢の中から、自分の意志と責任で主体的に選択する。 ・自分を生かし役割を果たした上で、様々な課題とその解決に取り組む。 ・自分に必要な支援が分かり、周囲の状況を判断し、適切に支援を求める。

職業課題の発達の	<小学校> ・自分や他者への積極的関心の形成、発展 ・身のまわりの仕事や環境への関心、意欲の向上 ・夢や希望、憧れの自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成	<中学校> ・暫定的な自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画を立て暫定的に選ぶ ・生き方や進路に関する現実的探索	<高等学校> ・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会移行の準備 ・進路の実現吟味と試行的参加
----------	---	--	--